正

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和８年６月 24 日

群馬県知事　　殿

西部 環境森林事務所 -8.6.24 収受

提出者　　〒105-0001
住　所　東京都港区虎ノ門三丁目18番19号

氏　名　東邦亜鉛株式会社　代表取締役　伊藤　正人

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　０３－４３３４－７３１３

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東邦亜鉛株式会社　安中製錬所
事業場の所在地	群馬県安中市中宿１４４３番地
計画期間	令和８年４月１日～令和９年３月３１日

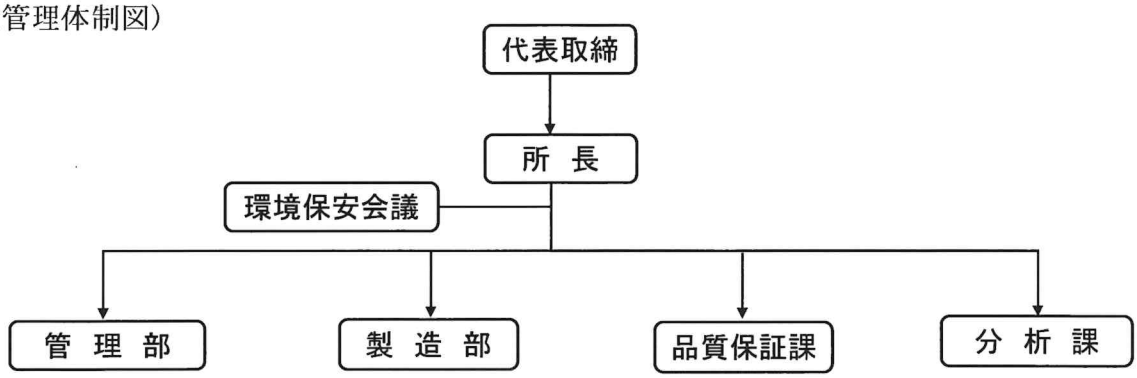
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　　中分類：非鉄金属製造業
②事業の規模	１２５，６００百万円
③従業員数	３２３名（８２名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	廃油：油水分離→焼却→固形化・造粒 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ：破砕→焼却 ゴムくず：埋立 ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず：埋立 ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず：破砕、切断→埋立 ｶﾞﾗｽくず・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず：破砕→ﾘｻｲｸﾙ がれき類：埋立 鉱さい：焼成 鉱さい：破砕 木くず：破砕 汚泥：ばい焼、焼却

（日本工業規格　Ａ列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物管理責任者：管理部長
特別管理産業廃棄物管理責任者：管理部長

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和７年度）実績】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
排　出　量	20　t	33　t

（これまでに実施した取組）
木くず：納入資材梱包材の簡素化。
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類：電解槽の材質変更による長寿命化。バルブ、ホース等の再利用。フレコンバック等の梱包材の簡素化。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
排　出　量	39　t	27　t

（今後実施する予定の取組）
木くず：納入資材梱包材の更なる簡素化検討。
廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類：分別による有償物へのリサイクル強化。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
＜分別種類＞木くず、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、ゴムくず、ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、がれき類、廃油
＜取組＞廃棄物関連教育による廃棄物取扱意識の向上。

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
＜分別種類＞木くず、廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類、ゴムくず、ｶﾞﾗｽ・ｺﾝｸﾘｰﾄくず及び陶磁器くず、がれき類、廃油
＜取組＞廃棄物関連教育による廃棄物取扱意識の更なる向上

ゴムくず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油	金属くず
4 t	0 t	13 t	12 t

ゴムくず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	廃油	金属くず
6 t	8 t	1 t	5 t

がれき類	汚泥	鉱さい	
0 t	0 t	1,374 t	t

がれき類	汚泥	鉱さい	
15 t	0 t	0 t	t

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>紙くず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った産業廃棄物の量</td><td>5 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・紙くず等の再資源化。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>紙くず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う産業廃棄物の量</td><td>10 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・紙くずの分別徹底による再資源化。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>3 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・木くずの自社内での炭化処理実施。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>17 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・木くずの自社内での炭化処理実施。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・特に実施していない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>－ t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・特に予定していない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①現状</td><td colspan="3">【前年度（令和７年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>木くず</td><td>廃プラスチック類</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>17 t</td><td>34 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>33 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>－ t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>17 t</td><td>－ t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・処理委託先の現地確認</td></tr>
</table>

t	t	t	t

t	t	t	t

ゴムくず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	廃油
4 t	0 t	0 t	13 t
－ t	－ t	－ t	13 t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

t	t	t	t

t	t	t	t

鉱さい	金属くず		
1,374 t	12 t	t	t
－ t	－ t	t	t
1,374 t	－ t	t	t
－ t	－ t	t	t
－ t	－ t	t	t

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	木くず	廃プラスチック類
全処理委託量	22 t	27 t
優良認定処理業者への処理委託量	－ t	27 t
再生利用業者への処理委託量	－ t	－ t
認定熱回収業者への処理委託量	－ t	－ t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	22 t	－ t

（今後実施する予定の取組）
・処理委託先の現地確認

※事務処理欄

ゴムくず	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	がれき類	廃油
6 t	8 t	15 t	1 t
－ t	－ t	－ t	1 t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

金属くず			
5　t	t	t	t
－　t	t	t	t
－　t	t	t	t
－　t	t	t	t
－　t	t	t	t

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。